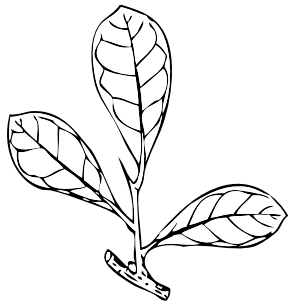


Miyajima Natural Botanical Garden Newsletter



宮島自然植物実験所ニュースレター

Miyajima Natural Botanical Garden
Graduate School of Science
Hiroshima University
Mitsumaruko-yama 1156-2, Miyajima-cho
Hatsukaichi-shi, Hiroshima 739-0543, Japan

広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所
〒739-0543 広島県廿日市市宮島町三ツ丸子山 1156-2 外
Tel: 0829-44-2025; Fax: 0829-40-2001
<http://miyajima.hiroshima-u.ac.jp/>
miyajima@hiroshima-u.ac.jp

Number 16 March 2010

第16号 2010(平成22)年3月



宮島自然植物実験所内 室浜砲台跡（廿日市市宮島町，2009年4月1日，坪田撮影）

写真は、広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所内にある室浜砲台跡（旧陸軍広島湾要塞室浜堡塁砲台跡）である。この砲台は明治時代につくられ、日露戦争の直前に備砲された。当時、広島や呉には陸海軍の重要施設があり、これらを防衛するために、広島湾を取り巻く要塞の一部として造られたものである。砲台全体の構成は自然の地形が巧みに利用されており、石材・コンクリート・レンガ（イギリス積み）などで構築された明治後期の近代要塞である。砲台は日露戦争終結までに実践を経ることなく、やがて豊予・下関などの砲台の完成によりその役割を終え、大正15年（1926年）に廃止、内務省に移管された。昭和38年（1963年）に広島大学理学部の所管となった。

（坪田博美・向井誠二・豊原源太郎）

宮島自然植物実験所内室浜砲台跡について¹

坪田博美・向井誠二（広島大・院・理）・
豊原源太郎（元 広島大・院・理）

「安芸の宮島」

「安芸の宮島（厳島）」は日本三景のひとつで、風光明媚な土地として有名である。古くから信仰の島とされ、大鳥居や厳島神社をはじめとする多くの文化財が残されている。また、瀬戸内海国立公園の一部でもあり、特別史跡・特別名勝にも指定されている。さらに、平成8年（1996年）には、広島市の原爆ドームとともに、世界遺産としても登録されている。このように、文化的・景観的なイメージをもつ宮島には、本稿で紹介する室浜砲台跡のような戦争遺跡も存在する。

宮島自然植物実験所について

宮島は広島県の南西、廿日市市大野（旧佐伯郡大野

町）の向いにあたる島で、広島湾の西端に位置する。島内西部の大野瀬戸がもっとも狭まった場所に、砲台跡のある広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所（宮島自然植物実験所）がある。園内に300種以上の植物が生育し、四季折々さまざまな植物が観察できる（広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所 2009）。実験所の建物は宮島港から約6 km、大元公園から約4 kmの場所にある。敷地は大元公園から続いており、室浜に本館をはじめとする3つの建物がある。

室浜砲台跡について

室浜砲台跡（旧陸軍広島湾要塞室浜堡壘砲台跡）は、廿日市市宮島町室浜の宮島自然植物実験所の敷地内に存在し、現在その管理下におかれている。以前から砲台跡の存在は知られていたが、植物がうっそうと生い茂っていたため一帯は昼間でも薄暗く、砲台跡の様子



室浜砲台跡，弾薬庫（廿日市市宮島町，
2002年8月，向井・坪田撮影）



室浜砲台跡，砲座（廿日市市宮島町，
2002年4月19日，向井撮影）



室浜砲台跡，司令室内部（廿日市市宮島町，
2002年4月19日，向井撮影）



室浜砲台跡，砲座の周囲の壁（廿日市市宮島町，
2002年3月21日，向井撮影）

は把握しにくいものであった。平成 11 年（1999 年）9 月 24 日、九州から日本海を北上し日本に大きな被害をもたらした台風 18 号は、宮島島内の各所にも大きな被害を与えた。この台風により砲台跡一带の森林も大きな被害を受け、多くの高木が倒れた。その復旧のための調査と作業の過程で室浜砲台跡の全貌が明らかになっていった。その後、倒木を取り除く作業が行われ、現在では砲座や弾薬庫などの外観を見ることができる。

室浜砲台は、明治 31 年（1898 年）に起工され、日露戦争の直前その機能が拡張されたようである。砲台跡は海岸から約 50 m 内陸にある。記録によれば、砲台には 4 基のフランス・シュナイダー社製「斯加式 9 cm 速射加農砲」が配備されていた。敷地内に大砲を設置するためのコンクリート・石造の砲座と、その周囲の盛り土内にレンガ・石造りの弾薬庫があった。またその奥の山手には、観測所や兵舎なども設置されていた。砲台跡地は川による侵食や植物による破壊の

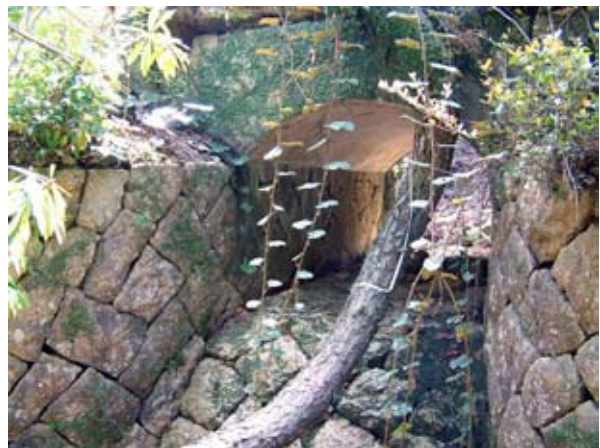
ため、その全貌は分かりにくくなっているが、現在でも跡地の西側部分には砲座・弾薬庫・貯水設備の一部・橋脚の一部が残っている（図参照）。これらの遺構は長い期間森林に覆われていたにもかかわらず 100 年近く経過した現在でも状態が良好である。とくに、非常に精度の高い石組みで作られた砲座の周囲の壁や弾薬庫の外壁、橋脚は、植物の根による損壊もあまり目立たず、当時の技術のレベルの高さを垣間見ることができる。幸か不幸か、室浜砲台はその機能を発揮することなく今日まで至っている。

なぜ宮島に砲台が設置されたのか

宮島島内には、大野瀬戸側の室浜砲台の他にも、巖島海峡側の鷹ノ巣浦に砲台跡がある。また、このような砲台は、宮島以外の場所、例えば能美島や倉橋島なども点々と設置されていた。これらの砲台は、広島湾を取り囲むように配置されており、海岸要地防衛上の役目を果



室浜砲台跡、弾薬庫外壁（廿日市市宮島町、2002 年 8 月、向井・坪田撮影）



室浜砲台跡、弾薬庫に続く道の橋脚（廿日市市宮島町、2002 年 4 月 19 日、向井撮影）



室浜砲台跡、貯水槽（廿日市市宮島町、2002 年 4 月 19 日、向井撮影）



室浜砲台跡、石の蓋で覆われた排水路（廿日市市宮島町、2002 年 8 月、向井・坪田撮影）

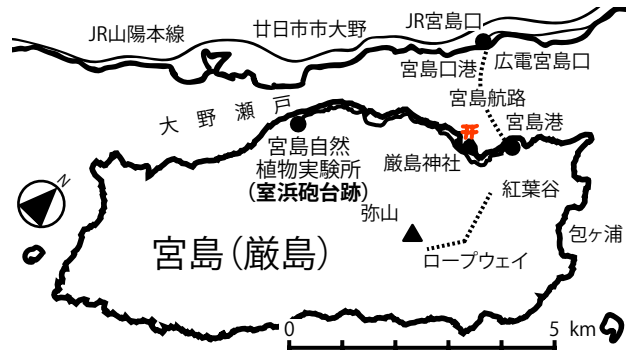
たしていた。このように、砲台は広島・呉を守るという役割を持たされていたが、これには日本の近代化と、広島軍事的な位置づけに関する歴史的な背景がある。

現在の広島市域は、毛利輝元が天正17年(1589年)高田郡吉田町より移り、太田川デルタに広島城下町を建設したことより始まる。江戸時代には、福島氏、つづいて浅野氏により広島藩として治下にあった。明治4年(1871年)の廃藩置県の後、広島県の県庁が置かれた。日本の近代化にともない、広島は学都・軍都の顔を持つ都市となっていた。学都としての広島のながれから、現在の広島大学が生まれた。一方、軍都としての広島には陸軍の施設が集められることとなり、同時に広島から東南約30 kmにある呉にも海軍の施設が集められたことから、広島は軍都としての性格を強めていった。明治17年(1884年)日清戦争が始まると、広島は大陸に向けての基地となり、大本営も置かれた。以後、広島は軍都としてますます発展し、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦と戦争のたびに拡大していった。室浜砲台跡をはじめとする各所の砲台跡は、このような歴史の残した戦争遺跡の文化遺産である。

将来に残すべき室浜砲台跡

本稿で紹介した室浜砲台跡は、広島大学の持つ近代化遺産級の重要な文化遺産であり、また比較的状态良く残されている。宮島に残された多くの有名な文化遺産だけでなく、このような戦争遺跡の文化遺産も保存し、後の世代に伝えていくことが大切である。宮島自然植物実験所で行われる理学部生物科学科1年生対象の教養ゼミでは、砲台跡の見学も行っている。宮島自然植物実験所と理学研究科生物科専攻植物生物学講座植物分類・生態学研究室内ヒコビア会と共催で毎月1回開催している植物観察会でも、平成13年度と平成21年度に砲台跡を案内した。また、広島大学附属三原学園の実験所で開催の野外観察会においても室浜砲台跡を見学している(金丸ほか2009)。しかし、室浜砲台はさらに多くの方に実際に見ていただきたい重要な文化遺産である。本稿を読んで室浜砲台跡に興味をもたれた方は、ぜひ宮島自然植物実験所までお越しいただきたい。

最後に、室浜砲台跡の経歴や建築様式、装備の詳細についてご教示いただいた廿日市市宮島町在住の大谷



室浜砲台跡の位置。室浜砲台跡は、現在広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所の敷地内にあり、宮島港から南西の方向に約6 kmの位置、大野瀬戸がもっとも狭くなった所にあたる廿日市市大野の対岸に存在する。

晋氏にお礼申し上げます。

¹ 本稿は、向井ほか(2002)を改訂したものである。

引用文献

- 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所(坪田博美・向井誠二)(編). 2009. 宮島の植物と自然, 改訂版(8版). 160 pp. 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所, 廿日市市.
- 金丸純二・坪田博美・向井誠二・岡芳香・石原直久・小早川喜伸・加藤秀雄・長野由知・中尾佳行. 2009. 確かな学力の育成, 世界遺産宮島から学ぶ野外教育実践. 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要 37: 201-204.
- 向井誠二・豊原源太郎・坪田博美. 2002. 宮島自然植物実験所内 室浜砲台跡について. 広島大学理学部通信(2002.12.15) 198: 1, 3-4.

編集後記: 本号は宮島自然植物実験所内の室浜砲台跡を特集しました。このような軍事要塞が宮島にあったことを知らない方が少なくありませんが、室浜砲台跡を知った機会に宮島の歴史にも目を向けてみてはいかがでしょうか。(向井・坪田)

宮島自然植物実験所ニュースレター

編集・発行 広島大学大学院理学研究科附属
宮島自然植物実験所
廿日市市宮島町三ツ丸子山 1156-2 外
印刷 喜勝印刷株式会社
広島市安佐南区伴南 2-5-5